

# ◇第67回三大学対校陸上競技大会（旧三商大戦）◇

2017年7月15日（土） 一橋大学陸上競技場

## 【総合成績】

	1位 大阪市大	2位 神戸大	3位 一橋大
総合得点	71点	66点	47点
トラック	44点	28点	17点
フィールド	27点	38点	30点

1位 5点～5位1点

大会新記録 5点加算

## 【対校の部】



種目	1位	2位	3位	4位	5位	6位
100m (+1.8)	小林 大航 (1) 大 10"76	小口 智毅 (3) 一 10"85	松本 倫太郎 (2) 大 10"91	浅沼 優斗 (2) 一 10"93	喜多 政天 (1) 神 11"00	水野 翔太 (3) 神 11"05
400m	松本 倫太郎 (2) 大 48"15	高柳 正徳 (2) 神 49"26 自己新	徳田 和優 (2) 大 49"27	齋藤 広武 (2) 一 50"37	竹島 周平 (3) 神 50"89	上村 勇斗 (4) 一 51"43
1500m	上田 啓太 (3) 大 3' 59"36	矢守 志穂 (2) 大 3' 59"58	栗田 寛樹 (2) 一 4' 01"56	藤田 竣也 (4) 神 4' 01"59	池内 真弥 (3) 神 4' 06"56 自己新	星 寿幸 (2) 一 4' 06"95
5000m	桂 翔太 (3) 神 15' 28"58	石井 正樹 (4) 大 15' 30"14	柿沼 拓也 (3) 一 15' 41"73	坂元 亮介 (4) 神 15' 48"39	高島 良平 (2) 一 16' 02"01	田中 大樹 (3) 大 17' 07"77
110mH (-0.4)	藤原 雅志 (4) 神 15"06	山口 大地 (2) 神 15"24	今井 凜太郎 (4) 大 15"41	佐藤 勇介 (1) 一 15"94	徳田 和優 (2) 大 16"63	池野 和 (2) 一 DNS
4X200mR	1位 大阪市大 1' 26"78 福田将大(1)松本倫太郎(2) 小林大航(1)荒田一樹(2) 大会新	2位 神戸大 1' 27"78 近藤佑哉(2)水野翔太(2) 奥田真伍(3)高柳正徳(2)	3位 一橋大 1' 29"09 浅沼優斗(2)太田輝介(2) 恒松玲央(2)小口智毅(3)			
走高跳	中山 直史 (1) 一 1m85	鳥海 直人 (3) 大 1m80	小西 満 (2) 神 1m80	阿保 朗楽 (2) 一 1m80	矢田 楓馬 (1) 神 1m80	源 織之相 (1) 大 1m75
棒高跳	宮崎 晃一 (4) 神 3m80	早川 雄己 (4) 神 3m80 自己新	中山 直史 (1) 一 3m60	池野 和 (2) 一 3m00	鳥海 直人 (3) 大 2m70	大村 隆人 (2) 大 NM
走幅跳	村上隆一郎 (4) 大 7m06(+0.1)	阿保 朗楽 (2) 一 6m87(-0.5)	安達 智則 (1) 大 6m85(+0.1)	矢野 雄大 (4) 一 6m50(±0.0)	西村 拓海 (3) 神 6m35(+0.5)	木原 日向 (3) 神 6m18(-0.1)
砲丸投	西村 拓海 (3) 神 11m27 自己新	宮崎 晃一 (4) 神 11m26	藤林良太 (1) 大 11m15	中嶋 義貴 (3) 大 10m37	山口 航平 (3) 一 10m26	佐藤 勇介 (1) 一 9m52
円盤投	高畑 大地 (1) 神 34m67 自己新	藤林良太 (1) 大 33m25	宮崎 晃一 (4) 神 32m19	中嶋 義貴 (3) 大 31m78	矢部 尚史 (4) 一 31m38	井出 俊輔 (4) 一 26m08
やり投	矢部 尚史 (4) 一 64m08 大会新	瀧瀬 祥良 (4) 神 52m55	渡邊 開 (1) 神 49m26 大学初	鳥海 直人 (3) 大 47m04	中嶋 義貴 (3) 大 42m04	山口 航平 (3) 一 37m74

## 主將近藤佑哉(3)

三商戦は勝つことを目標に挑みました。しかし、最終種目の4×200mRで大阪市立大学が大会記録を出したことが決め手となり僅差で敗れました。優勝が見えていただけに悔しい結果となりました。ですが、一回生の活躍や自己記録の更新も目立ち、今後に繋がる実りのある大会であったと思います。ここからチームの実力をさらに伸ばせていけるように、幹部一同さらに努力をしていきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 【優勝者より】

### 桂 翔太(3) 5000m

高温で厳しい環境下でしたが冷静にレースをすることができました。自分の得意なラスト勝負で勝ち切ることができたので自信にもなりました。今後も対校戦が続いていくので勝ちにこだわっていききたいと思います。また来年の三商戦でも優勝できるように精進していきます。

### 藤原雅志(4) 110mH 優勝

対校の110mHに出場させていただきました。今年は私より実力のある大阪市立大学の今井が本調子ではなかったため優勝を狙っていました。狙い通り優勝することができ、さらに今まで優勝したことのなかった



接戦を制し優勝した桂(左)と中盤先頭でレースを進めた坂元(右)



伝統ある三商戦で最後に優勝することができ、大変嬉しく思っています。また2回生の山口が2位となり来年にもこの種目で優勝を期待できる結果となったことも大きな収穫でした。タイムは納得いくものではなかったため、これからも精進していきます。最後になりましたが、応援してくれたチームメイト、現地まで来てくださったOB、OGの皆様ありがとうございました。

#### 宮崎晃一(4) 棒高跳優勝

多項目出場で疲労はありましたが優勝することができました。最後の三商戦で優勝できよかったです。

#### 西村拓海(3) 砲丸投優勝

補欠ながら砲丸投に出場させていただきました。急に予定変更となったのですが優勝できてよかったです。記録的にはまだまだなのでもっと上を目指していきたいと思っています。試技の中でうまくいかなかったところを直していくことができなかったので、試合中の修正力をもっとつけて次の試合に繋げていきたいと思っています。

#### 高畑大地(1) 円盤投優勝

上野さんの代わりに出場させていただいた円盤投ですが1位を勝ち取ることができました。2位の藤林君も1回生なのでこれから毎年この大会で戦うことになります。もし負ければ僕が努力を怠ったということの証明になってしまうので勝ち続けることにこだわり、これからも勝ち続けたいと思います。応援ありがとうございました。



### 応援に駆けつけていただきましたOB・OGの皆さま ご声援ありがとうございました！！(敬称略)

丹羽 徹(11)	椎木茂久(17)	濱岡 敬(17)	平田明男(18)	仲田卓史(23)	保尾福三(23)
今給黎哲生(24)	中嶋 周(24)	坂口栄一郎(26)	田代雅彦(27)	森島茂夫(27)	山本達男(30)
鎌田早苗(32)	鎌田史男(33)	宇野浩司(33)	高橋秀幸(37)	大野翔悟(57)	大野恵里(57)
日比鷹平(62)	田中 諒(63)	吉村浩気(63)	藤森郁美(65)	大和祐己(65)	

#### 【OB対校 4×100m リレー】

1位	一橋大学 (土屋克則・若菜忠央・日渡 淳・浜田健一郎)	54"31
2位	神戸大学 (田代雅彦・中嶋 周・今給黎哲生・椎木茂久)	1'02"65
3位	大阪市立大学 (前野修一・二宮 一・田中弘明・平山文夫)	1'02"78

#### [出場規約]

- ・年齢の合計200歳以上であること
- ・登録競技者であること

1走から一橋大チームがダントツで飛び出し他の2校を遥か後に置いて独走。神戸チームは全員100mオープンに出場し1時間半ほどおいてこの日2本目の100m。バトンが渡るかどうか心配されたが、田代、中嶋、今給黎各氏が頑張り、最後は椎木さんの快走でハナの差の逆転2位。ケガなく完走されたのが何よりでした！

来年は神戸が主管校、勝利目指して頑張ろう！



アンカーの熾烈な2位争い



リレーチームの面々椎木、今給黎、中嶋、田代

## 第 67 回三大学対校陸上競技大会（旧三商大戦）観戦記

今年の旧三商大戦は 3 年前に全天候化のこけら落としを祝って記念植樹され立派に成長したソヨゴが見守る中、一橋大学陸上競技場で開催されました。最終種目の 4X200mR で大市大が大会新記録で優勝し逆転優勝。3 連覇はなりませんでしたが、各大学とも 1、2 年生の台頭が著しくしばらくは接戦が続くと思われます。来年の雪辱を期待しています。

ートラックの部ー

新 62 回 日比鷹平

トラック種目について、観戦記を書かせて頂きます。

第一種目であった 110mH において、藤原雅くん、山口くんによるワンツーフイニッシュがいきなり飛び出したことが強く印象に残っております。藤原君は今年の関西インカレ 400mH においても大幅自己ベストを更新し、決勝まで進んだ選手。4 回生でありながらモチベーションをキープし、部に貢献できたことは素晴らしいことだと思います。

次に 5000m。坂元くんが積極的に集団を引っ張る中、力を温存し、一橋の選手が 3000m 近辺においてロングスパートをした際も冷静に後を追いつき、最後は市大の選手とのラスト勝負に競り勝った桂くんの勝負強さが目立ったレースでありました。トラックでの集団走ではなかなか本来の力を発揮できていない坂元くんですが、一人でも走れる強みを生かし、駅伝ではきっと活躍してくれることでしょう。

100m においては、なかなかハイレベルな戦いの中、惜しくも 5 位と 6 位。最近、結果を残せていない短距離パートですが、主将の近藤くんを中心に、良い意味で誰でも正選手になれる可能性が高いパートとして、お互い切磋琢磨して力を伸ばして欲しいと思います。

1500m では調子が戻りきっていないという藤田くんが、引っ張られるだけ引っ張られてしまった展開に。彼本来の軽くキレのある走りに今後期待するばかりです。池内くんはラスト一周のスピード勝負にて置いていかれてしまいましたが、秋の駅伝シーズンでは長距離種目にて自己ベストを大幅更新してくれることでしょう。

400m は結果についてだけではなくありますが、1/100 秒差で 2 位をもぎ取り、自己新を出した高柳くんが素晴らしかったと思います。

そして 4×200m ですが、バトンのミスが少し目立ち、1 位の市大が大会新を出したとは言え、勝負ができなかったのが残念でありました。一方で、一橋の猛追から逃げ切ることができた点は、今後につながるものだと思います。

最後に、毎年恒例のことではありますが、幹部の役目を終えた 4 回生たちが本当に楽しそうに色々な種目に出場しているのが印象的でありました。幹部学年以下の選手たちも、このように陸上を楽しむ気持ちを忘れず、伸び伸びと成長していった先に、勝負に勝つという真の楽しさをたくさん経験して欲しいと思います。

以上

ーフィールドの部ー

新 18 回 平田明男

急病でエースを欠き苦しい戦いとなった投擲陣ではありましたが、最初の砲丸投で補欠から出場した跳躍専門の西村君（3）がいきなり 1 投目に自己新を出しそのまま逃げ切り優勝。最後の三商大戦となる宮崎君（4）も 1 cm 差で 2 位に続きトラックの 110mH ワンツーフイニッシュと合わせチームのムードは最高潮！

続くやり投ではこれまた補欠から出場した瀧瀬前主将（4）が渾身の一投で 2 位、渡邊君（1）が 3 位に続き大市大との差を広げた。他校に目を向けると一橋大 4 年の矢部君は 60m スローワーでこの種目で 3 連覇。自己の持つ大会記録を更新し有終の美を飾った。

円盤投では初戦となる高畑君（1）が大幅に自己記録を伸ばし見事優勝！今後の活躍が期待されます。宮崎君（4）は棒高跳と競技が重なり、グラウンドの端から端を往復しながらの競技でしたが 3 位を確保。

一方、跳躍では走幅跳がやや向かい風の中競技が開始され初出場の 3 年生コンビ木原、西村で挑んだ。しかし、大会のプレッシャーに押されたか実力が発揮出来ず 5 位、6 位。ファウルの中には大ジャンプもありましたが、実に惜しかった。来年の奮起を期待しています。

走高跳では昨年の本大会後大ケガをし治療、リハビリに専念していた小西満君（2）の復活が嬉しい。小柄ながら身長 30cm 近い上を跳ぶ姿は素晴らしい！また、矢田楓君（1）もほぼ実力を発揮出来たました。2 位～5 位までが 1m80 という接戦の中、3 位、5 位を確保。来年の奮起に期待します。

棒高跳は前日体調不良に襲われ出場が危ぶまれた宮崎君（4）と短距離から転向しこの種目に打ち込んできた早川君（4）が自己新を出したのは嬉しい。昨年に続きワンツーフイニッシュ。有終の美を飾った。

以上

応援に駆けつけていただいた OB・OG の皆さまご声援ありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。